

次の文章を読んで、あなたが考えたことを後の①～④の条件を守り、問いに答えましょう。

聖徳太子は、たくさんの争いを見てきました。そのため、安定した国をつくるために、人はどのようなことを心がけ、どのように行動するべきかを深く考えました。そこでたどり着いたのは「和」を大切にすることを考えた。その考え方を深く考えました。

■十七条の憲法 第九条の現代語訳

まこと（他人を信じて、信頼すること、誠実であること）は、人が生きる上で、一番大切なことである。何をするにしても、まことを大切にしたい心である、「まごころ」を持つべきである。

善いことも悪いことも、成功するのも失敗するのも、必ず、この「まごころ」があるかどうかにかかっているのである。

人々が、たがいに「まごころ」を持って行動すれば、どんなことでも成し遂げられるはずである。これに反して、人々に「まごころ」が無ければ、あらゆることが全部失敗してしまうだろう。

問一 今までの生活の中で、他人のことを考えて行動した経験を書きましよう。(二〇〇字以内)

問二 他人を信じることはなぜ大切だと思いますか？ あなたの考えを書きましよう。(二〇〇字以内)

問三 この文章を読んだ感想を書きましよう。

(二五〇字以内)

【条件①】 接続詞（「だから」「しかし」「また」など）を適切に使って書きましよう。

【条件②】 解答は、解答用紙の太枠のマス目以上書きましよう。

【条件③】 解答するとき、段落分けは必要ありません。すべて一マス目から書き始めましよう。

【条件④】 一文は、五〇字以内で書きましよう。(二行分以内)

【メモ用紙】

※下書きやメモなど自由に使用してください。